

『みんなの中で自分のよさを生かせる子を育てる』

⇒ 一人一人の子どもを育て、その子らしさを生かせる学校



《 こんなことを大切なめあてにして汗を流せる方々、是非力をお貸しください。 》

こどもたちの育ちにとっての「基礎・基本」とは、**その子が生きていくことができる力**を育てることです。

これは、言い換えれば「**みんなの中で自分らしく生きていくことができる力**」です。

こう考えると、『心を育て、行動の仕方や人とのかかわり方を教えること』と、『学ぶ力、学習の基礎・基本となる力を培うこと』その両方が満たされ育まれて、初めて見も心も豊かに育つのです。

教えるべき事をきちんと教え、十分に力をつけて、その上で初めて認め話し、任せる。昔の言葉にある「**やって見せ、言って聞かせて、させてみて、誉めてやらねば子らは育たず**」のように、手間ひまかけて育てることが、今大事です。

あらためて、今日の前にいる『子ども』を見つめなおし、次のような視点で努力したいと思います。

【指導の方針】

徹底して **教える** ことから
⇒ **認め・託す（委ねる）**へ

(1) 豊かな関わりの中で心を育てる。

(人との関わり・自然との関わり⇒社会性・道徳性の育成)

- ◎ やってよいこと悪いこと、やらなければいけないことなど、社会生活の中で身に付けるべきことは、当たり前できるように丁寧に根気よく教え、身に付けさせる。

(2) 聞く・話す・努力し励む等の「学ぶ力」の基礎となる姿勢・態度を育てる。(自ら学ぶ資質)

- ◎ 具体的な体験を通して意欲を育てるとともに、聞く・話す・我慢して努力する力を培う。

(3) 学習の基礎となる内容を徹底して教え、習熟を図り、自ら学ぶ力の基礎を固める。

- ◎ 指導方法の工夫改善、少人数指導の充実

(4) 共感的な理解を進め、学級内での人間的な関わりを大切にし、安心感・やる気を育てる。

◎ 日常的に、学級内での認め合いや励ましあい場を重視し、個のよさを認め育てる。

※ 教職員・保護者の皆さん・地域の方々、いいかえれば学校、家庭、地域の協力で子ども達の育つ土壌が培われます。



このような考え方で教育活動を更に充実させたいと考えます。共感くださる先生、保護者、地域、多くの方々のご協力、お申し出をお待ちいたしております。

組織の力が、特に大切なとき、心を一つにして子どもたちを育ててくださる多くの皆様、子ども達のために一緒に汗を流しませんか？

◇ 心を育てる・・・・・・・・・・社会性・道徳性・楽しい学級、楽しい学校

◇ 学ぶ力を育てる・・・・・・・・学ぶ姿勢・態度から、学ぶ喜び、できる楽しさへ



組織的教育力の強化



特色ある教育活動 : 「げんき・なかよし・みんなたのしい下井草っ子」

すこやかに



かしこく

そのために・・・・・・・・

「一人一人の子どもをみんなで見とり

そのよさを生かし伸ばすことのできる、

支援体制の整った学校作りを・・・・。」めざしています。

お力添えくださる方を

おまちしています・・・。